

令和5年度 守山区区政運営方針 取り組み結果

○ = 達成できた △ = 達成できていない × = 未実施

取り組み＜所管課＞		目標	取り組み状況	評価	来年度への課題・目標
I 安心・安全で快適なまちづくり					
I-1 地域の防災活動を推進します					
1	中学校における防災訓練・講演会の実施 【中学校防災訓練】 災害時に中学生が地域において防災の担い手となるよう、指定避難所開設・運営訓練などの体験型訓練を実施します。 【中学校防災講演会】 過去の災害からの教訓や災害時に中学生ができることをテーマにした防災講演会を実施します。 ＜総務課＞	区内全中学校で防災訓練または防災講演会を実施 【中学校防災訓練】 2校 【中学校防災講演会】 6校	当初の予定である、中学校防災訓練2校と中学校防災講演会6校を予定通りすべて行った。	○	災害時に積極的に地域防災活動に参加したいと思えるような内容になるよう、生徒や先生から意見を聞き、改善していきます。また、実際の避難所において、中学生が持つ役割が明確になるような内容にしていきます。
2	地域防災活動の推進 【指定避難所運営リーダー研修の実施】 各学区の指定避難所運営の中心となる方々を対象にリーダー研修を実施します。 ＜総務課＞	【指定避難所運営リーダー研修の実施】 全学区を対象に実施	守山区内全学区の指定避難所運営に中心となっていただく方々にご参加いただき、研修を行った。	○	避難所運営の中心として、実際の避難所で起こりうる様々な状況に対する対応力を身に付けられるような訓練を実施します。
3	高齢者世帯の防火指導 消防職員等が高齢者世帯を訪問するなどして、住宅用火災警報器の普及啓発、住宅における火器の取扱状況等の確認を行い、火災予防に係る意識の高揚を図ります。 ＜守山消防署・区いきいき支援センター＞	火災による高齢者の死者をなくす	・ 8 4 世帯に消防職員が戸別に訪問し住宅用火災警報器の状況、コンロ等の火器の使用状況を確認し助言を行いました。 ・ 高齢者はつらつ長寿推進事業や守山区老人クラブ連合会などへ参加し、火災を防ぐ方法と発生後の対応をより多くの方へ助言しました。	○	高齢者人口が増加するなかで、より多くの方に防火の知識を持っていただく方策を検討する必要がある。
4	戸別訪問による防災用品を活用した地域防災力の向上促進 消防職員が中心となり、消防団員・区役所職員等と連携して対象地域の各世帯を戸別訪問します。 各世帯の防災力の調査を行い、必要な防災用品を配付するとともに、防災力向上を働きかけ、家庭における防災力の強化と地域防災力の向上を図ります。 ＜守山消防署・総務課＞	対象地域のすべての世帯への戸別訪問の実施	・ 苗代、森孝東、森孝西、天子田、小幡北、大森北の6学区全世帯への戸別訪問による意識啓発及び防災用品の希望調査を実施しました。 ・ 下半期は防災用品の配布後による家具固定の調査を実施しました。	○	来年度も引き続き戸別訪問による防災用品の配付及び意識啓発の実施を予定しています。 約20,000世帯への実施を予定しています。
5	「防災診断書」を活用した自主防災組織の活動支援 「防災診断書」を活用して、自主防災組織の現状や防災上の課題等を把握し、自主防災組織の災害対応力の向上を計画的・継続的に支援します。 ＜守山消防署＞	「防災診断書」を活用して、自主防災組織の現状や防災上の課題等を把握するとともに、令和5年度は区内100自主防災組織に対して、訓練指導・防災講話等の働きかけを実施します	・ 上半期においては、6 8 自主防災組織に対して働きかけを実施しました。 ・ 下半期においては2 4 0 自主防災組織に対して働きかけを実施しました。 ・ 区内の自主防災組織（3 8 6）の約8 0 %（3 0 8）に働きかけを実施しました。	○	来年度も地域の実情に即した自主防災活動の支援を計画的・継続的に実施します。

取り組み＜所管課＞		目標	取り組み状況	評価	来年度への課題・目標
I-2 犯罪被害の防止に努めます					
6	守山区重点罪種を中心とした防犯活動の推進 守山区の犯罪情勢を考慮した重点罪種を中心に、地域と協働して啓発活動やパトロールを行います。また、住宅対象侵入盗や特殊詐欺の防止講座等、関係機関と連携し様々な場面を活用して安心・安全啓発活動やパトロールを行います。 【各種啓発活動】 - 重点罪種撲滅講座の実施 - 犯罪多発地域への防犯対策のキャンペーンの実施 - 定期的犯罪対策 ＜地域力推進室・守山警察署＞	守山区重点罪種認知件数前年件数以下 - 平成30～31年度 - 守山区重点罪種（住宅対象侵入盗・自動車関連・特殊詐欺） - 令和2年度～ - 守山区重点罪種（住宅対象侵入盗・自動車盗・自転車盗・特殊詐欺）	- 防犯講座の実施（重点推進学区） 【回数】1回 【参加人数】21人 - 特殊詐欺撲滅（被害防止）キャンペーン 【回数】3回 【参加人数】13人 - 夏の生活安全市民運動（8月1日～10日）中の防犯パトロール（重点推進学区） 【回数】1回 【参加人数】21人 - 秋の生活安全市民運動（10月11日～20日）中のナンバープレート盗難防止ネジ取り付けキャンペーン 【回数】2回 【参加人数】25人 - 秋の生活安全市民運動（10月11日～20日）中の防犯講座（重点推進学区） 【回数】1回 【参加人数】44人 - まちの防犯診断（重点推進学区） 【回数】1回 【参加人数】17人 - 年末の生活安全市民運動（12月11日～20日）中の防犯パトロール 【回数】1回 【参加人数】50人 - 年末の生活安全市民運動（12月11日～20日）中の防犯キャンペーン 【回数】1回 【参加人数】50人	△	令和5年の重点罪種件数は前年より全体として増加しました。特に被害の増加が継続している自転車盗や特殊詐欺などの罪種について、警察や地域と連携したキャンペーンを行うとともに、啓発品やチラシを配布するなどして注意喚起を行います。
I-3 交通安全を啓発します					
7	事故形態に応じた多面的な交通安全活動の推進 多発する交通事故を喫緊の課題として、地域・関係機関と協働し積極的な啓発活動を行います。 【各種啓発活動】 - 自転車の安全利用促進の実施 - 高齢者への交通安全啓発の実施 - 子どもへの交通安全啓発の実施 - すべての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用徹底の促進 - 夕暮れ時、夜間の交通安全 - 飲酒運転の根絶 - その他各種啓発活動 ＜地域力推進室・守山警察署＞	守山区交通事故発生件数前年件数以下	令和5年の守山区の交通人身事故件数は526件と、令和4年の603件に比べて77件減少したものの、区内での死亡事故は6件発生しています。 - 交通事故抑止対策として、地域・警察と協力して区内主要交差点にてサインボード掲出などのキャンペーンや巡回広報、子ども向けの交通安全教室を実施しました。 - 新小学1年生交通安全教室 【啓発人数】1,060人 - 小学生保護者向け交通安全教室 【啓発人数】327人 - 地域交通安全キャンペーン 【回数】16回 【参加者数】約430人 - 高齢者交通安全教室 【回数】1回 【参加者数】30人 - 幼稚園保育園園児対象交通安全教室 【回数】20回 【啓発人数】1222人	○	今年度については、交通事故発生件数は昨年より減少しているものの、死亡事故が昨年の2人より増加し6人となっている。来年度も引き続き積極的に交通安全教室、交通安全キャンペーンなどを開催、また地域と協力して啓発活動を実施します。
I-4 清潔で住みよい環境づくりをめざします					
8	全市一斉クリーンキャンペーンを始めとする各種啓発活動の推進 地域、学校、行政が協働して、美化・緑化活動やごみ減量意識の普及啓発活動などを展開し、清潔で住みよいまちづくりをめざします。 【各種啓発活動】 - 全市一斉クリーンキャンペーン[6月] - 放置自転車追放活動及びキャンペーン[年18回] - 名古屋市に転入された方にごみの出し方を案内する「ごみ案内所」の設置[3月末～4月初旬] ＜地域力推進室・土木事務所・環境事業所＞	前年参加者数以上	- 全市一斉クリーンキャンペーンは、守山学区をメイン会場として実施する予定でしたが（6月11日）雨天のため中止となりました。5月・6月には、区内各学区で清掃活動が行われました。 【参加人数】10,064人（全学区延べ人数 前年比△786人） - 放置自転車追放キャンペーンについて、5月に名鉄大森・金城学院前駅周辺及びJR新守山駅周辺に啓発活動を実施しました。（小幡駅は雨天のため中止） - 区役所・支所の玄関において、「ごみ案内所」を設置し、ごみ減量推進員による案内と分別等に関する資料を配布しました。（4月上旬）	△	地域・学校等と協働して、快適で住みよいまちづくりを目指し、地域の清掃活動に積極的に協力するとともに、地域の皆さまに一層参加していただけるように努めます。

取り組み＜所管課＞		目標	取り組み状況	評価	来年度への課題・目標
9	犬・猫による迷惑防止対策の実施 【イベント会場での啓発】 イベントの機会に、飼主のマナー啓発資料を配布します。 【地域への支援】 地域からの相談や要望に応じ、啓発用の看板やステッカー、回覧用のチラシを配布し、飼主への啓発をします。 【避妊去勢手術の支援】 地域住民やボランティアの協力のもと、望まない繁殖防止を目的とした避妊去勢手術費用の助成をします。 【犬・猫による被害防止】 犬・猫による迷惑行為の相談を受けるとともに、のら猫の忌避方法を紹介するほか、必要に応じ超音波忌避装置の貸出を行います。 ＜健康安全課＞	【イベント会場での啓発】 2回以上	【イベント会場での啓発】 総合防災訓練および区民まつりの会場で、資料配布等により犬猫の適正飼育について周知し、飼主のマナー啓発を行いました。また、ペットの災害対策として、飼主には災害時に必要となる備えについて啓発を行うとともに、地域住民には避難所へ飼主と一緒にペットも避難してくることを周知しました。 【地域への支援】 地域からの相談や要望に応じ、飼主にマナー遵守を促す看板やステッカー、掲示・回覧用のポスター、チラシ等を配布し、飼主への啓発を行いました。 【避妊去勢手術の支援】 のら猫による迷惑行為の要因となっている頭数増加を抑制するため、望まない繁殖防止を目的とした避妊去勢手術を紹介し、手術費用の助成および保護器の貸出を行いました。 【犬・猫による被害防止】 相談対応時に、飼主等へ適正飼育について助言・指導を行い、犬・猫による被害防止に努めました。また、のら猫による被害については、忌避方法を紹介し、必要に応じ超音波忌避装置の貸出を行いました。	○	相談対応時やイベント等多くの人が集まる機会をとらえて、広く啓発活動を行います。 地域の要望に沿った効果的な看板、ステッカー、チラシなどを作成、配布し、犬・猫による迷惑防止対策を継続します。 地域防災活動を推進していくうえで、ペットの同行避難訓練を継続し、避難所にはペットを連れた方が来ることを周知します。
Ⅱ 子どもが健全に育つまちづくり					
Ⅱ-1 地域で連携した子育て支援を推進します					
10	子育て支援ネットワーク事業守山チームの活動推進 【子育て支援ネットワーク事業守山チーム会議の開催】 区内の子育て応援拠点・支援拠点・子育て支援センター・保育園・幼稚園・主任児童委員などで構成する子育て支援ネットワーク事業守山チーム会議を開催します。 【子育て支援ネットワーク事業の実施】 「もりやまっこ子育て広場」及び「親支援プログラム講座」の開催、「子育てサロンへの子育て応援講師の派遣」の実施、「もりやまっこ子育てマップ」の発行をおこないます。また、地域の子育て情報を集約した独自のウェブサイト「子育て情報サイトもりやまっこ」を通じて、子育て世帯が必要とする情報の発信に努めます。 ＜民生子ども課・保健予防課、エリア支援保育所、なごや子ども応援委員会、守山図書館、志段味図書館＞	守山区内の子育て支援機関で構成する子育て支援ネットワークと連携し、各種事業を継続して実施	【子育て支援ネットワーク事業守山チーム会議の開催】 子育て支援ネットワーク事業守山チーム会議を開催し、関係機関と子育て支援に関する情報共有をおこないました。（年間6回開催。） 【子育て支援ネットワーク事業の実施】 6月に「もりやまっこ子育て広場in志段味」、10月に「もりやまっこ子育て広場in守山」を開催しました。 「親支援プログラム講座」を5月に実施しました。 「子育てサロンへの子育て応援講師の派遣」は年間13件実施しました。 2024年度改訂版「もりやまっこ子育てマップ」を作成し、令和6年4月から配布しています。 「子育て情報サイトもりやまっこ」を毎月1回以上更新し、情報発信をおこないました。	○	今後も、子育て支援事業を推進するために、子育て支援ネットワーク事業守山チーム会議を通じて関係機関相互の連携、子育て支援事業の情報交換などを進め、各種事業を継続していきます。
Ⅱ-2 妊娠期からの切れ目のない支援に努めます					
11	子育て総合相談窓口（子育て世代包括支援センター）における相談支援 ・母子健康手帳の発行時に、保健師などの専門職が妊婦や妊婦の家族と面接相談を行い、妊娠期からの切れ目のない支援を行います。 ・子育てに関する相談を受けるとともに、正しい情報を発信します。 ・子育て支援に携わる関係機関と連携し、安心して子育てができるよう支援を行います。 ＜保健予防課・民生子ども課・児童相談所・医療機関・保育園等＞	市民が利用しやすい子育て総合相談窓口（子育て世代包括支援センター）の運営	・子育て総合相談窓口は、開庁時間中は昼休みも含めて常時開設しています。 ・妊婦面接時に支援が必要と判断した妊婦へは、学区担当保健師へ情報提供し継続的な支援をしています。また親子での遊び場情報、子どもの発達や子育ての悩み等の相談に対し、必要な情報の提供や精神的なサポートをはじめ、関係機関との連携することにより、安心して子育てができるよう支援しています。 【相談件数】電話：1958件 面接：6221件 訪問：40件 【妊婦の相談件数】1598件 【関係機関】医療機関：208件 幼保育園：87件	○	市民の方が相談しやすい子育て総合相談窓口の運営に努めてまいります。 関係機関と連携を取りながら安心して妊娠・出産・育児ができるよう支援していきます。

取り組み＜所管課＞		目標	取り組み状況	評価	来年度への課題・目標
Ⅱ-3 親子が集う場や子育て講座・教室を提供します					
12	学校と連携した思春期セミナーの開催 区内の小・中学校等において、赤ちゃんの抱っこ体験や講話を通して、いのちの尊さや成り立ち、性に関する正しい知識を学ぶセミナーを開催します。 ＜保健予防課・区内小中学校等＞	学校との連携を重視した思春期セミナーの継続開催	・小学校22校、中学校3校の計25校において思春期セミナーを開催しました。 ・区内小中学校の養護教諭の会合において、思春期セミナー開催について協力を呼びかけました。	○	学校と協力関係のもと、命の大切さや性に関する正しい知識について、児童・生徒に伝える取り組みを進めます。より多くの小中学校等が、思春期セミナー開催に取り組めるように啓発活動を行います。
13	はじめての離乳食教室 ・離乳食の開始時期（4～5か月頃）に教室を開催します。 ・実際に調理し、栄養士が適切なアドバイスをして、母の育児不安の軽減につなげます。 ・離乳食の作り方を体験し、動画、フードモデルを通じて家庭での調理に役立てます。 ＜保健予防課＞	教室を開催することにより参加者の育児不安を取り除きます	・新型コロナウイルス感染症が5類となり、離乳食の試食を再開し実際に子どもに食べさせることで、より実践的な指導を行いました。（計12回・参加者99人） ・教室終了後には個別の質問にも答え、参加者の理解を促し育児不安の解消に努めました。参加者の満足度アンケートでは、「とても満足」又は「満足」と回答した方は96パーセントでした。	○	乳幼児期は個人差が大きく、保護者の育児不安も大きいので各々に対応したきめ細やかな栄養指導を行っています。
14	親と子の交流イベントなどの実施 【もりやまっこ子育て広場の開催】 子育て支援ネットワーク事業守山チームと連携し、開催します。 【子育てサロンの実施】 主任児童委員が中心となり、各学区で子育てサロンを実施します。 子育てサロンを充実させるため、子育て応援講師を派遣します。 ＜民生子ども課・区民福祉課・保健予防課＞	・「もりやまっこ子育て広場」の満足度 80%以上 ・子育てサロンへの子育て応援講師の派遣 23か所	【もりやまっこ子育て広場の開催】 6月に「もりやまっこ子育て広場in志段味」を開催し、大人117人子ども123人が来場しました。 10月に「もりやまっこ子育て広場in守山」も開催し、大人178人子ども195人が来場しました。 【子育てサロンの実施】 地域の主任児童委員の方が中心になり各学区で実施している子育てサロンの充実を図るために、リトミックなどの子育て応援講師を派遣しております。年間13件派遣しました。	○	今後も、保護者の方とお子さんが集い、お互いに交流を深め、情報共有ができる場・相談ができる場を設けるよう努めます。今後も、地域で開催する子育てサロンの支援に努めます。
15	親と子が遊べる場の情報提供 【子育てマップの発行】 保育園のほか公園などの親子が集える場所や子育てサロン、子育て支援関係機関の情報が掲載された「もりやまっこ子育てマップ」を発行します。 【子育て情報サイトの運営】 保育園、幼稚園の「あそぼう会」・「園庭開放」や学区の「子育てサロン」、「もりやまっこ子育てマップ」など、子育て支援情報を集約した独自のウェブサイト「子育て情報サイトもりやまっこ」の運営を通じて、子育て世帯が必要とする情報を発信します。 ＜民生子ども課・エリア支援保育所＞	様々な方法による親と子が遊べる場の情報提供を定期的に実施	【子育てマップの発行】 2024年度改訂版「もりやまっこ子育てマップ」を作成し、令和6年4月から区役所の他、子育て支援関係機関で配布しています。 【子育て情報サイトもりやまっこの運営】 月1回以上更新をおこない、「もりやまっこ子育てマップ」や学区の「子育てサロン」等の情報発信を行いました。	○	今後も、子育てマップの配布に加え、独自のウェブサイト「子育て情報サイトもりやまっこ」での掲載情報の充実など、子育て支援に関連する情報提供の充実に努めます。
Ⅱ-4 子どもの健全な成長を支援します					
16	子ども会活動の支援 オリエンテーリング大会や綱引き大会、年少リーダー講習会の開催、名古屋まつり「子ども会みこしパレード」への参加など、様々な活動の支援を通して子ども会への関心を高め、子ども会活動の輪を広げます。 ＜民生子ども課＞	子ども会の魅力の発信を行うことで子ども会への関心を高めます	下記の活動を行いました。 【取り組み実績】 ・星の観察会（5月、9月） ・安全教育研修会（5月） ・年少リーダー養成講習会（6月、7月：日帰りキャンプ、8月：2泊3日のキャンプ、12月、2月実施） ・市子ども会連合会「市内一斉交通安全キャンペーン」（10月） ・名古屋まつり子ども会みこしパレード（10月） ・オリエンテーリング大会（11月） ・綱引き大会（2月）	○	今後とも、子ども会活動の輪を広げるために、事務局として守山区子ども会育成連絡協議会の運営を支援していきます。

取り組み＜所管課＞		目標	取り組み状況	評価	来年度への課題・目標
Ⅲ 「福祉と健康の守山」をめざしたまちづくり					
Ⅲ-1 高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らせるように支援します					
17	地域包括ケアシステムの構築 守山区地域包括ケア推進会議が中心となり、高齢者が医療や介護が必要となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療、介護、在宅医療・介護連携、認知症施策、介護予防、住まい、生活支援が一体的に提供される体制（地域包括ケアシステム）の構築と深化を目指します。 【見守り】 高齢者が孤立しない・させない守山区 ・孤立防止のために地域の見守りネットワークを充実します。 【生活支援】 ちょっとした困りごとを支えあえる守山区 ・地域支えあい事業や生活支援ボランティアの充実のため、担い手の養成と制度の普及を進めます。 【認知症】 認知症になっても安心して暮らせる守山区 ・認知症講演会などを通じ、認知症の正しい理解の普及を進めます。 ・認知症の予防と早期発見のための取組を実施します。 ・認知症の方本人と家族の声を受け止め、施策につなげます。 【介護予防】 誰もがいきいきと健康に暮らせる守山区 ・サロンなどでの介護予防の取組や生きがいをづくりを進めます。 ・地域の健康課題を把握する取組を実施します。 【在宅医療・介護】 住み慣れた地域でいつまでも過ごせる守山区 ・守山区在宅医療・介護連携推進会議と連携し、関係職種間の連携を深める取組を実施します。 ・ACP（アドバンスケアプランニング）の普及を進めます。 【情報発信】 ・地域での取り組みの紹介を通じて、地域包括ケアシステムの普及を進めます。 ・広報用映像やSNSを活用して、情報発信を行います。 <福祉課・守山保健センター・区社会福祉協議会・区いきいき支援センター・守山区はち丸在宅支援センター等>	守山区地域包括ケア推進会議を中心に、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができる地域社会づくり	守山区における地域包括ケアシステムの推進母体として守山区地域包括ケア推進会議を設置し、認知症に関する地域課題の検討等を行う認知症専門部会などの活動により、また、守山区在宅医療・介護連携推進会議と連携しながら、地域包括ケアシステムの構築と深化に取り組んでいます。 地域での取り組み、各分野で活躍する方々をより身近なものとして知っていただけるよう、動画「地域包括ケアシステムTHE MOVIE」の活用、出張講座の実施、地域課題を検討する場の開催など、普及啓発を行うとともに、地域の集いの場の運営者や認知症サポーターなどの担い手の支援を行っています。	○	引き続き、学区など小規模な単位で、相談機関の周知、認知症の正しい知識の普及、生活支援や介護予防や健康づくりの取組の啓発などを行います。また、部会において、守山区内の高齢者を取り巻く課題を共有しながら、課題解決のための事業展開を進めます。
18	モリスちゃんのアクティブシニアチャレンジポイント事業 健康づくり、仲間づくりの取り組みにポイントを付与し、楽しみながら健康寿命を延ばす活動を支援します。 また、取り組みを通じて、仲間づくりを進めることにより、地域の活性化及び地域のつながり強化を図ります。 一定数以上のポイントを貯めた方は、お楽しみ記念品の抽選に応募することができます。 <福祉課・守山保健センター・区社会福祉協議会・区いきいき支援センター・守山福祉会館等>	応募条件達成者数 650人	自主的に健康づくりに取り組み記録することで、景品の抽選に応募できるという方法で実施しました。（応募条件達成者数目標650人に対し、実績数516人。目標には到達できず。） 応募された方には、継続して健康づくりに取り組んでいただくようご案内するとともに、みんなで一緒に健康づくりに取り組むことがより効果的であるため、知人・友人にも参加を呼び掛けていただくようお願いする文書をお送りしました。 また、家族など身近な方から健康づくりの取り組みを勧めていただけるよう、元気まつり守山において、事業対象となる60歳以上の方だけでなく、幅広い世代の方に事業を周知しました。	△	今年度と同様に自主的な取り組みを促すことを基本としつつ、イベント等との連携を随時検討、実施していきます。 また、引き続き多くの方にご参加いただけるよう、様々な場面で事業を周知していきます。

取り組み＜所管課＞		目標	取り組み状況	評価	来年度への課題・目標
19	緊急時あんしん情報シートの配付 ひとり暮らしの65歳以上高齢者で希望される方に、緊急時に必要な医療や薬、親族等の連絡先などの情報をあらかじめ記入し、いざという時に備える「緊急時あんしん情報シート」を民生委員・児童委員と連携して配付します。 ＜福祉課・健康福祉局＞	新規のシート配付 1,000枚	民生会長連絡会で周知を図るとともに、必要な数量を各民児協へ配付しました。 民生委員が高齢者宅を訪問した際に、必要に応じて随時お渡ししています。 また、ケアマネージャーなど、希望される方には、区役所窓口でも配付しています。	△	配付枚数は、目標に達しなかったものの、必要な高齢者へ配付する事業目的は達成している。今後も引き続き、民生会長連絡会にて周知するとともに、民生委員を通じてシートの配付を行います。
20	地域支えあい事業実施学区の支援・拡充 【概要】 学区住民のボランティア活動への参加促進、学区住民による支えあい（助けあい）活動＜例：ゴミ出し、買物支援、電球の取り替えなど、日常生活におけるちょっとした困りごとを助けあう＞推進を支援します。 【支援体制】 学区担当制による職員（地域コミュニティワーカー）の重点支援学区方針に基づき、支えあい活動連絡会議の他、個別支援ケース調整等で、集中的に地域に出向きフォローできる体制づくりを目指します。 【推進方法】 実施主体である各学区地域福祉推進協議会（略：推進協）への定期研修会や、地域支えあい事業実施学区連絡会（R元～開催）により、実施学区への活動サポート及び、未実施学区の実施への意識醸成を図っていきます。 【連携】 第4次守山区地域福祉活動計画（社協強化項目）との連携、地域包括ケア推進体制（特に生活支援専門部会）との協働を目指します。 ＜区社会福祉協議会・福祉課・区いきいき支援センター＞	【実施学区】 6学区（新規1学区） ※名古屋市では、全266小学校区での実施を目指しています。 【生活支援活動件数】 年間400件（既存5学区 各80件）	新規実施学区の拡充については、学区担当職員が学区での各種会議に参加し働きかけを行っています。その結果、1学区で生活支援活動のボランティア募集を行う等、実施に向けた準備に入っています。 地域支えあい事業を実施している5学区（本地丘・吉根・白沢・大森北・小幡北）では、今年度も相談窓口を開設し、住民からのちょっとした困りごとを受け付けるとともに生活支援活動に取り組んでいただいています。また、学区担当職員が各学区の地域支えあい活動連絡会等に参加し、支援を行っています。	△	さらなる実施学区の拡充をめざし、引き続き、学区担当職員による丁寧な働きかけを行います。 実施学区に対しても、引き続き、学区担当職員が学区へ出向き、各学区の生活支援ニーズ等状況の把握に務め、必要に応じて多機関との連携を図ります。また、実施学区が抱える課題に対する話し合いを通して、より良い事業展開に向けた支援を行います。
Ⅲ-2 援助が必要な方へのサポート体制の充実を図ります					
21	障害者の自立支援と社会参加の促進 区内の障害児・者団体及び障害者支援施設・事業所、関係機関が参加する「守山区自立支援連絡協議会」を通じて、障害への正しい理解を深める事業を実施するとともに、障害のある方が地域で自立して生活できるよう、活動の場についての情報発信を行います。 【ハートフルもりやま】 区内の障害者支援施設・事業所で生産された製品の広報や区役所庁舎内などでの展示販売を通じて、障害のある方の社会参加を促進します。 【はばたけ！チャレンジド】 障害のある方が利用する施設・事業所について、具体的な活動内容を冊子やウェブサイトなど情報発信します。 ※新型コロナウイルス感染拡大の状況を考慮し、R2年度「集まれ！チャレンジド」を中止しました。R3年度からは「はばたけ！チャレンジド」に事業変更し、集まるイベントによらない新しい広報啓発を行っています。 ＜福祉課・区民福祉課＞	・区役所庁舎内などにおける展示販売の回数、利用者の増 ・「はばたけ！チャレンジド」の実施	【ハートフルもりやま】 3月末現在の参加事業所：5か所 令和5年4～3月延べ販売回数：121回 また、守山区社会福祉協議会でも事務局（アクロス小幡2階）に展示コーナーを常設し、製品が目に触れられる機会を増やしました。 【はばたけ！チャレンジド】 守山区自立支援連絡協議会ハートフル部会で、区内の生活介護事業所、就労支援事業所等から掲載記事を募集し、8月末に発行しました。 記事掲載施設・事業所：約24か所 発行部数：1,000部	○	【ハートフルもりやま】 販売を行う施設・事業所や回数の増を目指します。 【はばたけ！チャレンジド】 冊子については特別支援学校や事業所へ配布するほか、区役所窓口での配布や守山区自立支援協議会のウェブサイトでのPDFデータ公開も行っていますが、今後冊子についてより多くの方へ周知を図ります。

取り組み＜所管課＞		目標	取り組み状況	評価	来年度への課題・目標
22	難病保健活動 ・難病の専門医による講話や相談、リハビリの専門職による実技指導や相談、患者同士の交流を行う「神経難病患者・家族のつどい」を開催し、療養生活の支援をします。 ・難病患者が地域で安心して療養生活ができるよう、地域で支援する関係機関との連絡会を開催をします。 ＜保健予防課・福祉課＞	「神経難病患者・家族のつどい」と「難病患者地域支援ネットワーク会議」の開催	・「神経難病患者・家族のつどい」を計5回（6月・9月・10月・12月・2月）開催し、患者・家族を含め延べ56人の参加がありました。 ・それぞれの会で医師、理学療法士、言語聴覚士、福祉用具ブラザ職員に講話をしていただくとともに、各講師及び管理栄養士・歯科衛生士による個別相談をあわせて行いました。 ・多数の専門職が相互理解を深めあうことを目的に「難病患者地域支援ネットワーク会議」（11月30日）を開催し、難病患者支援について意見交換を行いました。	○	「神経難病患者・家族のつどい」を、難病患者や家族の方が不安や悩みを共有し相談しあえる場とします。また事業内容を検討し、今後も定期開催に努めます。 難病患者が地域で安心して療養生活が継続できるよう、関係機関との連携を推進し、「難病患者地域支援ネットワーク会議」を開催します。
Ⅲ-3 がんの早期発見と健康づくりを推進します					
23	乳がん検診の受診者数（保健センター等実施分）の向上 ・守山保健センターで実施する乳がん検診について、全世帯に配布するがん検診ガイドや広報なごやを活用し、広く勧奨していきます。 ・守山保健センターで実施する乳がん検診の実施回数を充実していきます。 ＜保健予防課＞	・保健センター、志段味分室で行う乳がん検診の受診者数200人	受診者数の向上を目指し、全世帯に配布するがん検診ガイドや広報なごや守山区版で検診日程を掲載し、身近な保健センターで受診いただけるよう努めました。 【実施状況】 全9回実施 受診者数212人 令和5年7月18日【受診者数】46人 8月29日（志段味分室）【受診者数】21人 9月26日【受診者数】28人 10月17日【受診者数】21人 11月28日【受診者数】31人 12月18日（志段味分室）【受診者数】14人 令和6年1月30日【受診者数】22人 2月27日【受診者数】16人 3月19日【受診者数】13人	○	受診者数が増えるように広報なごや等を通じて、一層の勧奨を進めます。
24	乳がん自己触診法教室の開催 ・あらゆる年代の女性が、日頃から乳房を意識し、乳がんの早期発見につながる生活習慣を身につけるため、自己触診法教室を開催します。また、子育て中の世代も参加しやすい教室運営に努めます。 ・保健センターで実施する乳がん検診時に自己触診法教室を併設し、知識普及に努めます。 ・金城学院大学と連携し、大学生を対象とした乳がん講座や自己触診法を学ぶ教室を開催します。 ＜保健予防課＞	青年期の女性が乳がんの早期発見に関する知識を習得する機会を提供します。	・保健センターで実施する乳がん検診の機会をとらえ、乳がん自己触診法を乳がん触診モデルを使用して健康教育を行いました。（全9回、参加者211人） ・金城学院大学の2年生を対象に大学の健康診断（4月4日）の機会を活用し、啓発リーフレットの配布説明（392人）と希望者に乳がん触診モデルに触れていただきました。 ・金城学院大学の3年生を対象に乳がん講座とあわせて乳がんの触診モデルを使用した教室を9月15日（参加者224人）に開催しました。 ・子育て世代等が参加する地域役員等主催のサロンにおいて、健康教育を実施しました。（全9回、参加者84人）	○	プレストアウェアネス（乳房を意識する生活習慣）を身に着け、若い頃から自らの健康について関心を持ち生活することができるよう、乳がん予防の普及啓発に努めます。

取り組み＜所管課＞		目標	取り組み状況	評価	来年度への課題・目標
Ⅳ 区の特徴・魅力を活かしたまちづくり					
Ⅳ-1 区民相互のふれあいと交流の場を創出します					
25	みんなが参加したくなる「区民まつり」の開催 区民の地域に対する愛着心を高めるために、幅広い世代が交流できる場を創出し、区民相互のふれあいや連携・交流の活性化を図ります。 【「元気まつり守山」の開催】 区民・事業者・行政の協働により、幅広い世代の皆さまが楽しめるようなまつりを開催します。出演者・出店者・ボランティア・来場者等、様々な形で区民参加を進めます。〔9月24日（日）〕 【ふれあい交流事業（モリスちゃん杯学区対抗ディスクドッチ大会）の開催】 行政・地域が一体となり、スポーツ大会を開催することで「する」「みる」「ささえる」視点で幅広い区民の皆さまの交流の場をつくります。〔7月1日（土）〕 ＜地域力推進室＞	【元気まつり守山】 ・来場者数 50,000人 ・来場者満足度 100%	「元気まつり守山」を開催しました。（9月24日） 【来場者数】 50,000人 【来場者満足度】 100%	○	【元気まつり守山】 来年度以降は開催時期を10月最終日曜日に変更し、より参加しやすい区民の交流とふれあいの場を提供していきます。 【ふれあい交流事業（モリスちゃん杯学区対抗ディスクドッチ大会）】 参加チーム数は14チームに留まったが、予選リーグと決勝トーナメントの形式とした事で参加チームは最低でも6試合に参加出来たため、参加者の満足度は高かった。児童の少ない学区においてはチームとしての参加が厳しくなっているため、来年度は学区対抗の枠を外して、参加しやすくします。
		【ふれあい交流事業（モリスちゃん杯学区対抗ディスクドッチ大会）】 参加者数（来場者数を含む） 600人	【日時】 令和5年7月1日（土）9時20分～ 【参加チーム数】 14チーム 【試合形式】 総当たり戦による予選リーグ及びトーナメント戦による準決勝・決勝 【参加者数（来場者数を含む）】 450人	○	
26	子どもがっつける守山まちづくりプロジェクト ふるさと学習、体験型イベントの企画・運営及び情報発信を通し、将来を担う子どもたちを発信源として、区民自らが守山区について考え、魅力等を発見する機会を提供することで、さらなる区民相互の交流を促進し、地域への愛着醸成を図ります。 ※「名古屋市区まちづくり基金」を活用した事業です※ ＜地域力推進室＞	子ども実行委員やイベント参加者等のうち、自分の住むまちがもっと好きになった人：80%以上	・事業を実施するにあたり、公募型プロポーザルにより、委託業者を選定しました。 ・6月、子どものまちの企画運営を担う子ども実行委員、それをサポートするサポーターを募集し、子ども実行委員27名、サポーター39名の応募がありました。 ・第1回、第2回子ども実行委員会にてふるさと学習を実施しました。第1回目は寺本潔先生を招きふるさと学の総論について、第2回目は守山商工会、守山リス研究会、歴史の里マイスターの会より講師を招き、産業・自然・歴史の分野で区の魅力について講義していただきました。 ・10月～11月中旬に一般参加者を募集し、12月17日（日）に守山区の魅力を盛り込んだ子どものまち「キッズタウンもりやま」を開催しました。	○	引き続き区の特性に応じて、区民相互の交流を図り、地域の魅力を発信する事業を実施します。
27	特色・魅力の情報発信による区のイメージアップ 「人と自然の調和する 元気あふれるまち守山」の特色・魅力をPRし、区のイメージアップを図ります。 ・区の魅力を紹介するガイドマップを作成し、区内転入者や希望者に配布します。 ・大河ドラマにおいて守山区とも関連がある題材が取り上げられることを契機に、関係機関・団体・企業・大学等と連携し、区の魅力・特色としてテーマ性を持って発信する事業を実施します。 ・守山区の魅力を伝える写真コンテスト・展覧会を開催します。 ＜地域力推進室＞	・守山区魅力紹介マップ「もりやま魅力探訪」の作成・配布 ・写真コンテストの応募者数70枚以上、展覧会の実施	・「もりやま魅力探訪」を作成し、転入者への配付や窓口等に配架しました。 ・「こうする守山！絆プロジェクト～家康伝」と称し関係機関とさまざまなイベント等を開催しました。 【展示】 小幡城復元模型巡回展（9月21日～11月25日） 名古屋城西の丸御蔵城宝館始め7会場 【講座】 「徳川家康ゆかりの美術工芸品(10/29)」始め8講座 参加延べ人数368人 【イベント】 「志段味絆フェスティバル（11/19）」始め2回 参加延べ人数3,265人 ・守山区魅力写真コンテストとして写真を募集し、48点の応募がありました。（5月10日～8月4日） 審査員投票と区役所、Instagram、元気まつりによる一般投票を行い、入賞作品を決定しました。 コンテストで応募のあった写真を用いて、2月14日～2月18日に展覧会を開催しました。	△	引き続き、守山区の特色・魅力を様々な方法でPRし、区の更なるイメージアップを図ります。

取り組み＜所管課＞		目標	取り組み状況	評価	来年度への課題・目標
Ⅳ-2 豊かな水と緑の保全や広報に努めます					
28	「守山自然ふれあいスクール事業」の実施 守山区の貴重な自然を守り、育てようと活動する自然保護団体・企業・大学などと行政が一体となってＰＲ・啓発活動や各種イベントを実施します。 ・構成団体による「守山自然ふれあいスクール検討部会」の開催[毎月1回] ・区内自然保護団体と連携したスタンプラリー[通年] ・守山自然ふれあいスクール主催・共催事業(自然観察会やマメナシ(注)観察会など)の実施[年6回] 注：マメナシは、4月にはサクラに似た美しい白い花をつけ、秋にはナシに似た小さな実をつける樹木です。絶滅危惧種に指定されており、国内の自生木はわずか350本ほどしかなく、そのうち約4割が守山区に生育しています。守山区内の主な生育地は、小幡緑地、八竜緑地、蛭池、雨池、風越池などです。 ＜地域力推進室・土木事務所＞	スタンプラリーの参加者数：前年度参加者数以上	・事業に参加する自然保護団体等が集まる検討部会を原則毎月開催し、情報交換やイベントの検討・調整等を行いました。 ・自然保護団体等と連携したスタンプラリー（観察会等、約90イベントが対象）を実施しています。（4月～3月） 【参加者数】約1,660人（4月～3月・前年比190人） 【主なイベント】 ・「まめなしのお花見＆観察会」（4月4日） ・「春の八竜緑地自然観察会」（4月8日、9日） ・「秋の八竜緑地自然観察会」（9月9日、10日） ・「まめなしの実の観察会」（10月27日） ・「風の手作り・風揚げ」（12月10日）	○	引き続き、自然観察会などスタンプラリー事業の充実や広報活動、各自然保護団体間での情報共有を通して自然保護活動の支援を図ります。
29	農とのふれあいと「地産地消」の推進 【農産物品評会】 守山区内のJA3支店と連携して、「守山区農産物品評会」を開催し、区内農産物のPRを行います。 ＜西部・守山農政課＞	区内農産物の品質向上及び区内農産物（なごやさい）のPR	【農産物品評会の実施】 今年度も守山区内JA3支店と連携して、12月に農産物品評会を開催します。 また、品評会参加農家の協力のもと、守山区の野菜や果物（なごやさい）を区役所でPRし、地産地消の推進に努めます。	○	市内全体において農家の数が減少していく中で、引き続き品評会が開催できるよう区内農家やJAと連携していきます。
30	特色・魅力の情報発信による区のイメージアップ 守山区マスコットキャラクター「モリスちゃん」を活用して区のPR活動の推進に努めます。 ＜総務課＞	守山区マスコットキャラクター「モリスちゃん」のイラストや着ぐるみの活用による、区の特色・魅力の更なる発信	・元気まつり守山、モリスちゃん杯学区対抗ディスクドッジ大会や防犯キャンペーンなどの区主催行事に加え、地域団体の行事でもモリスちゃんの着ぐるみやイラストを活用したPR活動を行いました。 ・モリスちゃんを使用した新たな守山区のロゴを作成しました。	○	引き続きモリスちゃんの着ぐるみやイラストを活用して、守山区の特色、魅力をPRし、さらなる区のイメージアップを図ります。特に、令和5年度で更新頻度の低かった「おさんぽ日記」の更新に力を入れています。

取り組み＜所管課＞		目標	取り組み状況	評価	来年度への課題・目標
IV-3 歴史や伝統を伝える人材の育成を図ります					
31	区内の史跡・名所や志段味古墳群をガイドするボランティアの活動促進と養成 ・守山区内の史跡・名所や志段味古墳群をめぐる散策会を、生涯学習センターで活動を行っているマイスターグループ「ええとこ守山案内人」「歴史の里マイスターの会」それぞれが開催し、各グループが学習した成果を区民の皆さまに情報発信します。 ・区内の史跡・名所や志段味古墳群のガイドを通して、守山区の魅力を伝える人材の育成を図ります。 『ええとこ守山案内人』…守山区の歴史・文化・史跡などを学習し、守り伝えることを目的に、生涯学習センターにて活動を継続している自主学習グループ 『歴史の里マイスターの会』…守山区上志段味地区に数多く残る古墳群「歴史の里」の貴重な歴史遺産や魅力について広く区民の皆さまに啓発するため、各種イベントでのパネルガイドや現地でのガイド、小学校等の出前事業などのPR活動を行っている自主学習グループ ＜守山生涯学習センター＞	・「ええとこ守山案内人」参加者数 20人 ・「歴史の里マイスターの会」参加者数 70人	「ええとこ守山案内人」 ・【守山生涯学習まつり・史跡散策会】小幡城～家康VS秀吉～受講者12人の講師を務める（現地学習）。 ・「第5回守山の歴史を学ぶ」受講者31人の講師を務める（2/3・3/2の全2回）。 「歴史の里マイスターの会」 ・〈なごや学マイスター講座〉「歴史の里マイスター」養成講座 受講者11人の後期講座で、第2回から第5回までの4コマの講師を務める。 ・【トライアルサマー】勾玉づくりで古代体験！小学生12人の講師を務める。 ・庄内川右岸古墳探訪 19人の講師を務める（現地学習）。	△	今年度同様、区内の史跡・名所をガイドするボランティアが学習した成果を還元できる場を設定します。散策ルートや紹介する内容について、マイスターグループと検討しながら、市民に広く守山区の魅力を伝えていきます。 また、ボードや写真・図を用いた解説や、小グループに分けての解説など、受講者への伝達方法についてマイスターグループと相談しながら、より良い方法を検討します。
32	「守山探検隊によるお宝発見事業」の実施 広く一般に知られていない「区の魅力」を発見するきっかけづくりと情報の発信を目的とし、まちあるきイベントの開催と、まちあるきマップの作成を、区民の皆さまとの協働により推進します。 ・公募スタッフによる「守山探検隊実行委員会」の開催【毎月1回】 ・「守山探検隊まちあるきイベント」の開催【年1回】 ・「まちあるきマップ」の発行【年1回】と、それを活用した「まちあるき再探訪」の開催【年1回】 ＜地域力推進室＞	・「まちあるきイベント」の満足度 80%以上 ・15コース目の「まちあるきマップ」の作成	・原則毎月の定例会や、まちあるきコースの下見会などを開催し、事業実施に向けての検討・調整を行いました。 ・昨年度策定した「御用水コース」のまちあるきイベントを実施しました。（5月27日） 【参加者数】34人【満足度】83% ・まちあるきイベント「鳥羽見・二城コース」を実施しました。（10月28日） 【参加者数】15人【満足度】93% ・まちあるきイベント「鳥羽見・二城コース」を10月28日に実施後、同コースをベースに15コース目の「まちあるきマップ」を作成しました。	○	引き続き、区内の自然や歴史的・文化的財産などの「区の魅力」を発見するきっかけづくりと情報発信を、区民の皆さまとの協働により推進します。
IV-4 文化・芸術・スポーツ・社会教育活動を支援します					
33	芸術の振興 美術振興会員や区民の皆さまが創作した作品を、多くの方に観覧してもらう機会を提供します。 ・「守山区美術振興展」【7月7日（金）～7月10日（月）】 ・「区民美術展」【9月29日（金）～10月1日（日）】 ・「いけ花展」【10月22日（日）・3月24日（日）】 など ＜地域力推進室＞	・各種展覧会の来場者数 2,200人	・「守山区美術振興展」【7月7日（金）～10日（月）】 来場者数 360人 ・「区民美術展」【9月29日（金）～10月1日（日）】 来場者数 438人 ・「いけ花展」【10月22日（日）・3月24日（日）】 来場者数 163人・187人 ・「女性会芸能発表会」【11月10日（金）】 来場者数 102人 ・「女性会作品発表会」【12月20日（水）～21日（木）】 来場者数 233人 - 合計 1,483人	△	守山区美術振興展及び区民美術展については、出品者の減少や高齢化が課題となっています。美術振興展に関しては、出展要件となる美術振興会の入会基準を緩和し、区民美術展については、小学4年生から中学3年生までを対象とした「子ども美術展」を新たに同時開催として、若年層の取り込みを図りました。 この結果、美術振興会入会候補者は昨年度3名に対し、14名と増加し、子ども美術展への出展作品数は169点となりました。子ども美術展については、書道165点に対し絵画が4点と少なかったため、来年度については、絵画の出展が増えるようPRを行います。

取り組み＜所管課＞		目標	取り組み状況	評価	来年度への課題・目標
V 親しまれ信頼される区役所づくり					
V-1 区民ニーズの把握と区政への反映に取り組みます					
34	区民の皆さまの要望を把握 【区民会議の実施】 地域の特性に応じた課題解決のために、地域で活動する区民の皆さまの視点で区政全般の議論を行います。 【区民アンケート調査の実施】 無作為で抽出した区民の皆さまを対象に、区政に関するアンケートを実施し、広く意見を収集します。（調査結果は後日守山区ウェブサイトに掲載します） ＜企画経理室＞	・地域における要望や課題に対する丁寧な対応 ・区民アンケート調査回収率現状を維持	【区民会議の実施】 今年度は7月と2月に開催し、区政運営方針、第2期守山区将来ビジョン及び区政運営方針、区の特性に応じたまちづくり事業予算について意見を聴取しました。 また、区将来ビジョンの策定に先立ち、6月に守山区の理想的な未来について話し合うワークショップを開催しました。（参加者数37名） 【区民アンケート調査の実施】 今年度は5月から6月にかけて調査を実施し、18歳以上の区民2,000人にアンケートを送付しました。 その結果、回収率は39.4%（2,000人中787人）でした。	○	引き続き、区民の皆さまのニーズを把握するために、区民会議や様々な場面において、幅広く意見をお聞きするとともに、区民アンケート項目の見直しや、回収率上昇への取り組みを検討していきます。
V-2 信頼される区役所づくりに努めます					
35	接遇の向上に向けた取り組み 【さわやか市民サービス運動】 窓口アンケートの結果を窓口対応に反映するため、「守山区さわやかマナーガイド」を活用し、接遇の向上に努めます。 【外部講師による研修】 専門の外部講師による研修を行い、接遇のレベルアップを図ります。 ＜総務課＞	窓口アンケート結果「とても満足」「満足」：95%以上（内「とても満足」45%以上）	【さわやか市民サービス運動】 ・さわやかマナーガイド通信を毎月発行し、接遇向上の意識付けを行いました。 ・窓口アンケートを実施しました。 窓口アンケート結果：「とても満足（50.5%）」、「満足（45.5%）」：計96.0% ・窓口業務向上の一環として、窓口掲出用の誤交付防止亚克力ボードを作成しました。 【外部講師による研修】 ・三区（東・北・守山）合同接遇研修を10月11日に実施しました。	○	さわやかマナーガイド保存版やさわやかマナーガイド通信を有効活用し、さらなる接遇向上に取り組みます。
36	公務員倫理・コンプライアンスの徹底された職場風土の確立 ・職場会議などを定期的に開催し、倫理規範とコンプライアンスの徹底を図ります。 ・公務員倫理や個人情報保護について研修などを開催し、職員の意識向上と知識習得を図ります。 ・交通安全研修を開催し、交通事故のリスクについて知識習得を図ります。 ・業務のチェック体制を強化し事務処理誤りの防止に努めます。 ＜総務課＞	・職場単位の公務員倫理研修2回実施 ・職場単位での「職場会議」3回実施	・ハラスメントや不祥事などをテーマに公務員倫理研修を各職場で開催し、職員の倫理意識向上と知識習得を図っています。 ・職場内のリスク対策についての職場会議を実施し、事務処理誤り防止に取り組んでいます。 ・交通安全研修を10月5日に実施しました。	○	引き続き、職場会議や研修などを開催し、倫理規範とコンプライアンスの徹底を図ります。